

日程 平成 29 年 9 月 8 日～10 日 (北海道)ワセダ沢 経由 トムラウシ

9/8 帯広空港＝トムラウシ温泉＝カムイサンケナイ林道－トムラウシ川 970mBC (泊)

9/9 トムラウシ川 970mBC－地獄谷分岐－ワセダ沢 1510m－地獄谷－トムラウシ川 970mBC (泊)

9/10 トムラウシ川 970mBC－カムイサンケナイ林道＝トムラウシ温泉

撮影：小林



001 9/8 出発

カムイサンケナイ林道終点手前の雨量計のある所で装備を付けて、いざ出発。使用前のメンバーの顔は元気だ！

002 笹藪

早速、藪につかまる。このような藪がよく出てくるが足元の踏み跡はしっかり読める。



003 渡渉

左岸、右岸と渡渉を繰り返す。できるだけ水の勢いが少ない浅瀬を狙う。



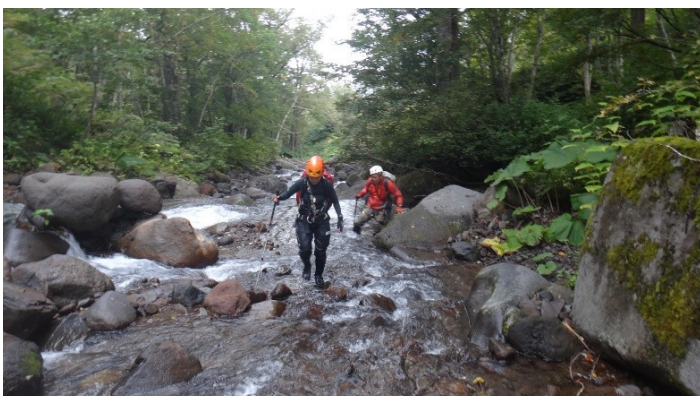
004 BC

計画では地獄谷まで行く予定だったが、天候や道路事情等の関係でトムラウシ川の 970m 辺りにスペースを見つけてテントを張る。



005 9/9 二日目

明け方は星も出ており、気持ちも上向き。しかし山の天気は変わりやすい。雨が降ったり日が差したり。トムラウシまでは時間的に厳しいが、気を抜かず歩く。





006 ワセダ沢

ヒサゴ沢の分岐を分けてワセダ沢へ入る。今までと違い、何か小川の中を歩く雰囲気。気持ちも少しホットする。



007 核心部

小川の小さな沢と思っていると、滝が現れる。それほど難しくないが、中ほどの滝は右側を巻いた。



008 詰め

本日（今回）の詰めは 1500m 辺りで時間切れとなった。2 時間ほど足りなかったが安全のため時間を設定しての行動だった。しかし、山はまたいらっしやいと微笑んで、景色を見せてくれていた。



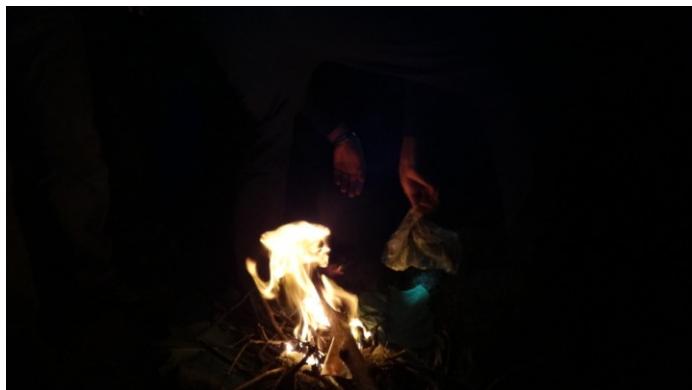
009 地獄谷

当初のテン場予定地。地面は地熱で温かく、川を掘って温泉も楽しめる。
写真、どう見ても、工事現場の不良おやじ三人。



010 一日が終わる

テン場へ戻り、火を灯し濡れた服を乾かす。緊張感も解ける。炎の形が人の顔に見え、アイヌの呪いだと言う N 氏。当てにしていたオショロコマが釣れず、持ってきたオショロコマ？を肴に乾杯。





012 雨で増水



川は、土砂降りではないが連日の雨で入渓した時よりもやや増水している。一人で渡るより、二人や三人でスクラムを組んだほうが安定して渡れる。



013 余裕

今日の行程も見えてきた。ルートファインディングの中に気持ちの余裕が見える。笑顔もこぼれる。



014 ヤッター！

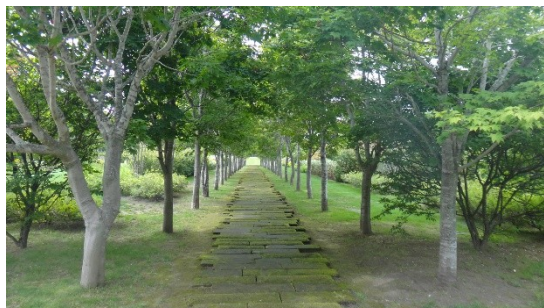
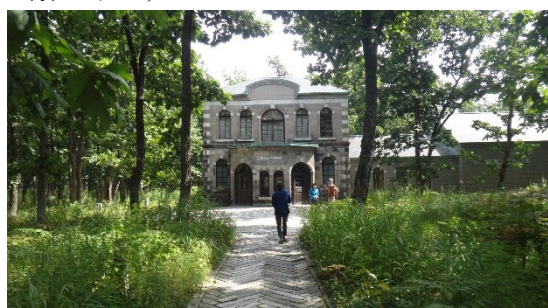


昼前に遡行を終了し、入れ食いという情報もあり、最後にトムラウシ川で再挑戦。ヤッター！オショロコマが釣れた！

また一つ、思い出に残る、絆が深くなった山旅だった。



※ オマケ



北海道の山へ行ったら、中札内の「相原求一郎美術館」や「六花の森」に立ち寄ってほしい。北海道の山や景色が、もっともっと素晴らしいものになる！